

## 令和4年度第2回知立市総合教育会議議事録

審 議 日 時	令和5年1月12日（木） 13:15 ～ 15:30			
審 議 場 所	知立市役所 4階 第4会議室			
出 席 者	市 長	教 育 長	蔭山委員	竹内委員
	宇納委員	伊藤委員		
事 務 局	企画部長 企画政策課長 教育庶務課長 学校教育課長 文化課長 企画政策課地方創生SDGs係長・担当			
議 題	(1) SDGsの取組について (2) 多文化共生について (3) その他			
企画部長	定刻になりましたので、只今より、「令和4年度第2回知立市総合教育会議」をはじめます。 議事の取り回しは、知立市総合教育会議設置要綱第4条第1項において、市長が議長となり議事を総理するとありますので、市長にお願いします。よろしくお願ひします。			
議長（市長）	本日は、ご多用の中お越しいただきありがとうございます。 次第に沿って議事を進めたいと思います。本日の議題は、一つ目、「SDGsの取組について」、二つ目、「多文化共生について」、三つ目、「その他 教育部の新規事業について」、以上の3点です。 それでは、一つ目の議題について、担当課より説明をお願いします。			
地方創生SDGs係担当	(知立市のSDGsの取組について、資料に沿って説明)			
学校教育課長	(各学校におけるSDGsの取組について、資料に沿って説明)			
議長（市長）	ありがとうございます。委員の皆様から順番にご意見をいただけたらと思います。			
伊藤委員	小学校でSDGsの授業が始まりました。日常生活の中で、「これは食品ロスだからよくないよ」「もっと大事に使おうね」と子どもから声をかけてくれるようになり、小学生のうちから良い意識を持つことができていると思います。親の方が学ぶことも多く、今後も深く理解をしてもらえたらと思います。			
議長（市長）	キーホルダーをお配りしましたが、保護者の方に見せてくれたりしていますか。			
伊藤委員	そうですね。見せてくれます。			
宇納委員	先ほどアイデアコンテストを開催されると聞きました。対象者として記載されて			

	<p>いる「連携協定を締結している大学」というのはどこが挙げられますか。また、配布したキーホルダーは一種類でしょうか。木材から制作していると思いますので、素材を活かした様々な形が出来ると面白さを感じてもらえると思います。そのような視点を持つ大切さを学んでもらえると良いと感じました。SDGsのマークも綺麗に印刷されていて、私たちも持ちたいと思います。伊那市と連携しているとのことですので、道の駅等で購入できると良いのではないのでしょうか。</p>
<p>企画政策課長</p>	<p>連携協定は、愛知教育大学、愛知大学、岡崎女子短期大学と締結しており、近々、愛知県立大学とも締結を予定しています。アイデアコンテストは、協定を締結する大学に声をかけ、良いアイデアを頂きたいと考えています。また、キーホルダーの形は1種類です。間伐材には木目があり一個ずつ模様が異なりますので、世界に一つのキーホルダーであると考えています。販売については具体的な検討をしていますが、イベント等で配布することも検討しています。今回は、市内小中学生の全員にお配りしましたが、SDGsの目標年度は2030年度になりますので、それまでの間は小学校の新入生の皆さんへお配りしたいと考えています。</p>
<p>宇納委員</p>	<p>私がお配りした資料は、愛知教育大学で取り組んだ竹を活用したプロジェクトに関するものです。なぜお配りしたかという点、SDGsの取組でどのような素材を活用することができるか、検討する資料になればと考えたからです。知立市内に竹藪等はなかなかありませんが、活用できる素材もあるのではないのでしょうか。以前、在原寺で枯葉の清掃活動に参加したことがあり、たくさんの枝や枯葉が落ちていることを知りました。それらを活用してもいいですし、松並木の松等も活用したアイデアが出てくるかもしれません。愛知教育大学のプロジェクトでは、大学の近くにある富士松北小学校と連携して、竹炭を作りました。その時の職人さんに相談したところ、知立市と何か取組をするときには無償で協力しますよ、と言ってくださったので、何かできることがあればと思います。</p>
<p>議長（市長）</p>	<p>具体的にどのように進めていったら良いのでしょうか。</p>
<p>宇納委員</p>	<p>大学と連携することだと思えます。先生方も様々なことに興味を持ち始めており、地域と連携して何かやってみようと思える人もいると思います。ぜひ一緒になって研究してほしいと思います。</p>
<p>企画部長</p>	<p>公園や学校にはたくさんの落ち葉があります。今は焼却していると思いますが、活用できればSDGsの取組に繋がると考えられますので、担当課と相談したいと思えます。</p>
<p>宇納委員</p>	<p>私がミュンヘンで研究をしていた時に、公園で散歩をすることがありました。バラ園や散歩道がありましたが、樹皮のチップを敷き詰めることで、光が遮られ下草</p>

	<p>が生えなくなっていました。南ドイツ等ではそのような取組をいち早くやっていて、騎馬隊が治安を守り、観光にも力を入れていることも分かりました。市長もコロナが収まったら馬を道中に、と提案されていましたがそのような自然に関する取組を知立でもやってほしいと思います。</p>
議長（市長）	<p>宇納委員のお話を聞いて思ったことですが、知立駅周辺に新しくできる公園でピオトープを整備したりするのも、SDGsの取組として考えられます。今後、新地公園をインクルーシブ公園として整備していきたいと考えていますので、その際にもSDGsの視点を取り入れていきたいと思っています。宇納委員が協力されている在原寺の清掃についても、何か取組がなされるといいですね。</p>
宇納委員	<p>蔭山委員が市民農園を借りて菜園をされていますが、そのような場でも収穫の楽しさを知る機会が広がると良いと思います。歩け歩け運動のような自然と共生する活動や緑化運動等が活発になるといいですね。名古屋市は街路樹がある程度の大きさになると、伐採してまた新たに植えるということをしています。豊橋市では、大きくなった木にも風情があるという考え方を持っているようです。たくさん葉が落ちるので市民からの反発もあるようですが、長年の景色があることで、理解が進んでいくということも考えられます。</p>
竹内委員	<p>SDGsアンケートに回答された世代を詳しく教えてください。若い世代も回答していますか。</p>
地方創生SDGs係担当	<p>回答者数の81.5%が10代です。学校に周知したことが影響していると思われます。</p>
竹内委員	<p>小学生や中学生が多いのですね。もう少し高齢者が理解を深めたり、取り組んだりできるような周知の仕方をしてもらえると効果が上がるのではないかと思います。先ほど公園の話題になりましたが、不登校の子どもが公園で友達を作ったり、交流したりする取組がなされていると聞きます。変に監視をせず自由に遊べる公園が見られるようになってきて、日本人だけでなく、外国の子供たちも一緒になって遊んだり、コミュニケーションが取れたりするようなそういう公園作りにも取り組んでほしいと思います。スマホやゲームだけでなく、外に遊びに行くという発想を子どもたちに持ってほしいです。</p>
議長（市長）	<p>アンケートは10代が多いということですが、高齢者の方への普及促進はどうですか。</p>
企画政策課長	<p>年代別の具体的な取組はありませんが、アンケートに関してはオンラインで実施することがメインになりつつありますので、市の公式LINE等を活用して様々な</p>

<p>議長（市長）</p>	<p>世代に向けて発信していきたいと考えています。町内会へ投げかけて、地域の高齢者世代の方に投げかけてもらうこと等も検討していきたいと思います。</p> <p>LINEの登録者数は、クーポン事業も相まって増加しており、人口の50%を超えています。近隣市は登録者数が10%程度であると聞いています。アンケートをする際にはLINEを積極的に使うように周知していますので、市民の皆さんに気づいていただき、回答者数の増加に繋がると良いと思います。公園に関しては、建設水道委員会からインクルーシブ公園に関する要望を頂いたので、新地公園をそのような公園として整備していきたいと考えています。一つ一つの遊具に費用がかかりますが、自らが遊ぶことを考えていただく、誰もが遊べる、そんな公園の整備をしていけたらと思います。将来的には駅の南側の公園にビオトープ等の整備、自然的な環境づくりも検討していきたいと思います。</p>
<p>蔭山委員</p>	<p>竹内委員のご意見にも関わりますが、アンケートの結果は小中学生が中心で、学校教育にいる児童生徒に限られています。働き世代の人や親がどれくらい理解があり、実践しているかも大切だと思います。子どもは学校で学習するから知っている、一方で実践が難しいのは親の支えが必要だからです。なぜか、子供だけに目が向けられていますが、大切なのはその親の世代だと思います。あとは、SDGsという表現が日本人には難しいと感じます。多様性や連続性等、理解できる単語で表現すべきだと思います。</p>
<p>議長（市長）</p>	<p>SDGsという言葉は難しいですね。SDGsには、「誰一人取り残さない社会を作る」「持続可能な社会を作る」という考え方があります。17のゴールを見ると、「海の豊かさを守ろう」というゴールがある一方で、「産業と技術革新の基盤をつくろう」というゴールがあり、矛盾しているように感じてしまいますがバランスよく取り組むことが大切です。本市がSDGs未来都市に応募した1年目は、「社会をシェアしていこう」というようなテーマで提案をしましたが、落選してしまいました。先進性がなかったのだと思います。2年目に応募する際には、もう少し身近な課題を視点に、「多文化共生」をテーマとしました。本市は外国人人口が増えていることから、求められる視点であると思います。教育分野では、早期適応教室や日本語の習熟度別の教育が充実しています。東小学校では代表の児童が新入生に対し、「色々な国の友達と仲良くなれるよ」と声をかけていました。また、市長室でお話しした学生さんは、南中学校を卒業したおかげで外国人の方と接する機会が増えてもすぐに仲良くなれた、と喜んでいました。上手に多文化共生を進めることで、教育効果が高くなると感じています。また、昭和地区は外国人比率が高いのと同時に、高齢化率も高い地区です。高齢者の方がゴミ捨てをする際に外国人の若い方がお手伝いしてくださったり、外国人の方と高齢者の方が一緒に防犯パトロールをしてくださったりと、上手に進めることで、これからの高齢化社会もうまく回っていくのではないかと感じています。文科省から愛教大に知立市の学校をテーマに研究してほしい</p>

	<p>いというお話があり、東小学校と南中学校をテーマに研究をしていただいたこともあります。本市は率先して多文化共生に取り組んでいますので、効果が出ていると感じています。</p>
企画部長	<p>高齢者の方の認知度はまだまだかもしれませんが、SDGsという言葉がニュース等で耳にする機会があると思います。民間は取組が進んでいるように思いますので、働き世代の方には一定の認知度があるかもしれません。市としては、子どもたちが理解し保護者と話し合ってもらい、そういうことも大切であると考えて進めてきましたが、蔭山委員がおっしゃる通り、高齢者世代への認知度も上げていかないといけないと思います。</p>
蔭山委員	<p>ターゲットを絞って行動しないと認知度を上げることは難しいと思います。もっと創意工夫が必要です。子どもに教えれば親も理解するという考えではなく、親世代を直接支援するという考え方でないと良くなっていかないとと思います。</p>
企画部長	<p>啓発もまだまだ必要だと思いますので、検討していきます。</p>
教育長	<p>SDGsという言葉や17のゴールに縛られてしまいがちですが、身の回りで取り組んでいることを考えてみると、皆さん何かしらの取組をしていると思います。具体的なことを示せば理解は進むのではないのでしょうか。SDGsのPRとともに、具体的な取組を示したり、イベントに絡めたりすることで、意識も変わると思います。</p>
議長（市長）	<p>今年度のSDGsイベントでは、厚切りジェイソンさんと呼びます。少しでも気づきを得る機会になればと思います。SDGs関連では、企業から協力をいただくことがあり、今回も企業にご協力いただきながらイベントを開催していきます。</p> <p>それでは、一つ目の議題「SDGsの取組について」は以上とさせていただきます。」続いて、二つ目の議題「多文化共生について」、担当課より説明をお願いします。</p>
学校教育課長	<p>(外国人児童生徒の日本語教育について、資料に沿って説明)</p>
議長（市長）	<p>ありがとうございます。委員の皆様から順番にご意見をいただけたらと思います。</p>
伊藤委員	<p>事務をされる方や翻訳できる方が必要だと感じました。とにかく人員を増やすしかないと思います。西小学校区も外国人が増えてきて、PTAの連絡をするときは学校に任せることもあります。外国人に日本の文化を理解してもらうことも大切ですが、日本人の理解も必要だと考えます、英会話教室のような形で、ポルトガル語教室だとかタガログ語教室等をやってもらえると良いと思います。</p>

宇納委員	現場の状況は先生方から伺っています。学校訪問の際には気にならないように対応されていますが、日々、苦勞されていると感じます。知立市だけで対応できるものではないと思いますので、政治家に認識を持ってもらう必要があるかと思います。
竹内委員	テレビ電話通訳を活用することで、伝える術が無いという状況からは脱出できたように思います。言葉の壁があることで、「ここまで理解してもらえた」と考える先生がいても、「まだ理解できていないな」という児童もいるかもしれません。東小学校に通わせることができ嬉しいという親と、違う学校に通わせたいという親と、様々な考え方がありますが、東小学校に通えてよかったと思ってもらえると嬉しいです。
蔭山委員	日本語教育とよく言われますが、多文化教育を考えてほしいと思います。日本語を教えることも大切ですが、それぞれの国の文化を交流するような、お互いに学ぶことを柱に考えてほしいです。東小学校には伝えているので、いくつか取組が行われているようです。先ほど市長が話してくださった学生さんは、東小学校と南中学校に通えてよかったと感じてくれていますが、これは東小学校や南中学校だからこそできる教育だと思います。そのような多文化教育が学べる学校であると思ってもらいたいです。いかに日本語を学んでもらうかというのにエネルギーが注がれていますが、外国人の児童生徒とどう学んでいくか、ポイントは親にあると思いますのでぜひ取り組んでほしいと思います。
教育長	蔭山委員のご意見の通り、東小学校の強みだと思います。タブレットが導入されてからは、日本語をポルトガル語に翻訳して、ポルトガル語で考えて、ポルトガル語の答えを日本語に翻訳して回答する、ということをしています。国際色豊かな環境を生かした学校づくりを歴代の校長も考えてきましたが、言葉の壁や課題があるので、それを解決する人の配置が必要です。東小学校は職員が多い学校ですが、転出入の手続き等、色々な事務を県の事務職員が担っていることもあります。市で事務職員を雇うことができると助かります。国や県に対応してもらうのはすぐには難しいので、市でできることをしていきたいです。テレビ電話通訳があるだけでもかなり助かります。外国人の親同士がトラブルになると、教員は言葉が分からずお手上げになってしまうので、そういう課題も解決できると望ましいです。また、プレスクールのお話がありましたが、高根保育園が一生懸命に取り組んでくださっていて、入学してくる子どもたちには日本語教育に一定の理解があります。就学前の子どもたちに対する取組も、いかに充実させるかが大切だと思います。
議長（市長）	多文化共生を進めるにあたり、思い切った施策が必要だと感じています。具体的に市の事務職員を雇いたいというお話がありましたが、詳しく教えてください。
教育長	以前は、学校には県の事務職員と市の事務職員の2名がいましたが、現在は市の

	備品や経理、子どもサポートに関係する事務を県事務職員等が担っている状況です。この状況を変えないとパンクしてしまいますので、市の事務職員を1名雇いたいと考えます。
議長（市長）	蔭山委員より市の方向性は？というお話がありましたが、私がお話しした学生さんのように、インターナショナルの子供を育てていく、そういう考えのことでしょね。
蔭山委員	そうです。教育は組織的・計画的に行うものだと考えます。子ども同士と一緒に生活すれば自然に交流するというのは幻想であると思います。組織的・計画的な取組が必要です。それに必要なのは、親の理解が進むことだと思います。
議長（市長）	昭和未来会議を数年前から実施しています。色んな国のキーパーソンを見つけよう、色んな国の人とイベント作りをしようという目的がありますが、その取組の一つとしてもやいこ農園があげられ、ブラジルの方やフィリピンの方等、様々な国籍の方が参加されています。大人のコミュニティ作りも実施しています。
蔭山委員	親と子どもを切り離して考えるのではなくて、セットでやっていくことが重要だと思います。学校を拠点に日常生活の中で取り組んでほしいです。
教育長	通訳者がいないと伝わらないので、言葉の壁をクリアしなければなりません。
議長（市長）	通訳者を増やすことが大事ですね。テレビ電話通訳の活用はどうですか。
教育長	大人の場合は、多言語間の通訳が必要です。
議長（市長）	ひとまずは、学校を拠点としたコミュニティ作りの方法を探りたいと思います。東小学校は200名の外国人児童がいます。活かしていきたいですね。
教育長	八ツ田小学校や西小学校にも十数名の外国人の児童がいます。東小学校だけでなく、市内の各所に外国人児童はいます。
竹内委員	極論ですが、どこの学区に住んでいても東小学校に通ってもらおうという方法が教育のために良い気はします。現実的ではありませんが。
蔭山委員	障がいを持つ子どもの教育についても言えることですが、名古屋市では指定校方式をとっていました。竹内委員のご意見も過渡的には良いと思いますが、それが望ましい方式だとは必ずしも言えないと思います。

議長（市長）	参考にさせていただきます。私の感覚ですと、日本人、外国人、障がいのある方、誰もがみんな同じであると考えていますので、誰かを指定校方式でという考えは持っておりません。
蔭山委員	みんな同じというよりは、みんな違っていい、という考え方ですね。
議長（市長）	そうですね。 それでは、二つ目の議題「多文化共生について」は以上とさせていただきます。最後に、三つ目の議題「その他 教育部の新規事業」について、担当課より説明をお願いします。
教育庶務課長	（テレビ de 通訳の導入について、資料に沿って説明）
文化課長	（知立市電子図書館の導入について、資料に沿って説明）
議長（市長）	ありがとうございます。委員の皆様からご意見をいただけたらと思います。
宇納委員	SDGs のテーマとは異なりますが、昨年末、尼崎市立ユース交流センターを視察し、その視察内容について市へ報告書を提出しました。図書館に関する提案もしましたが、出したままとなっています。視察の成果を少しでも還元できればと思っていますが、成果が実感できません。また、昨年度の総合教育会議で太田委員と性教育・命の教育について提案をさせていただきました。尼崎市では学校教育の中で取り組んでいるということが分かり、有意義な内容でした。形を変えてもいいのでぜひ検討してほしいと思います。昨年から今年にかけて、色々な意見を読みました。私の孫は中学 1 年生ですが、その中の一つを読んで見てほしいと、思ったことを書いてほしい、あなたが感じることでいいからと頼んでみたところ、「性に関することがテストに出るのは嬉しくない」という意見が出ました。そこでハッとしたのですが、主に女性に対しての教育が多く、男性に対する教育はおろそかになっているのではないかと思います。保健学会の研究会では、挨拶の中で性教育について考えてほしいと話がありました。今後も総合教育会議のなかで検討していただきたいです。生きるということについて学んでほしい、そうなられたら嬉しいです。
議長（市長）	尼崎市の報告書と関連しますね。文科省の学習指導要領に基づいて先生方は授業をされているということで、性教育については要領に基づいて学ぶことができれば良いのではないかと整理したように思います。
教育長	今年度から中学校も、保健センターの方に授業をしていただいています。
教育庶務課長	これまでは小学校 4 年生のみを対象にしていますが、中学校では実施していま

	<p>せんでしたので、今年度から3中学校で実施しています。先生方も授業がしづらい状況であるというご意見を頂きましたので、保健センターに講師をお願いして、客観的・専門的に進めていきたいと考えています。</p>
宇納委員	<p>学校訪問の際に校長先生に聞いてみましたが、昨年度とあまり変わっていないのだなと感じました。これは学校教育の現場だけでは解決できないと思います。</p>
議長（市長）	<p>今までより少し前進しているかと思いますが、この会議での議論をもとに検討した結果ということですね。</p>
宇納委員	<p>ぜひ今後もこのような会議の場で議論していただけたらと思います。</p>
議長（市長）	<p>検討していきたいと思います。</p> <p>それでは、「その他 教育部の新規事業について」は以上とさせていただきます。その他、何かご意見はありますか。</p> <p>特にご意見等はないようですので、最後に事務局より連絡をお願いします。</p>
企画部長	<p>次年度の総合教育会議は、資料8にあるとおり、令和5年5月11日（木）と令和6年2月7日（水）に開催する予定です。よろしく願いいたします。</p>
議長（市長）	<p>本日はどうもありがとうございました。</p> <p>（終了）</p>